

みんなで考えよう あなたの人權 わたしの人權

# 差別のない明るい社会をめざしましょう

多久市の小中学校では、人權教室が行われています。

昨年、参加した子供たちの標語と作文の一部をご紹介します。

## 標語

「ほかほかこぼで はなそつら」

小学1年生

「ともだちがいつぱいいてとてもしあわせ」

小学2年生

「だいじょうぶ言葉は心のたから物」

小学3年生

「ごめんねとけんかしたあとなかなかあり」

小学4年生

「ありがとうは心の栄養

どんな時も大切にしよう」

小学5年生

「認め合おう、自分とちがつ、いっしょに」

小学6年生

「友達のはげまし言葉くれる人」

中学1年生

「ごめんねと勇気を出して言ってみよう」

中学2年生

「やめようよいじめや差別傷つくよ」

中学3年生

## 作文

「人權」

小学6年生

ぼくが通っている小学校では、「なかよしタイム」で人權について勉強しています。そして、人權についての看板が多くあります。

例えば、「差別だめ みんないっしょ 地球の子」などがあります。

ぼくは、人のことを考えず、思いやりがない人が差別やいじめをするんだなと思います。ぼくの小学校でもときどき見つけます。ちよつと人と変わっているからって差別をしたり、からかっている人を。

でも、ぼくは、それを見ているだけ、他の人はいっしょにからかっている。ぼくは、止めようと思うけど勇気がない。でも人權のことを学んで止めなきゃいけない。なくさなきゃいけないと思った。

がんばろうと思った。そして今、平和のことを学んでいる。戦争のことです。ぼくは、修学旅行で長崎に行きました。戦争の悲惨さがよく分かりました。

戦争は国と国のけんかです。国から人へたどっていくと、人と人とのけんかになります。だから人と人とのけんかの根源に人權が関係していると思います。

ぼくは、人權について考えてみて、はっきりに分かります。人の心は複雑です。でも、それを考えて人を思いやるのが大切だと思いました。

## 8月は佐賀県同和問題啓発強調月間です

### 多久市同和問題講演会

入場無料です。みなさまのご参加をおまちしています。

日時 8月18日(火) 受付 13時30分  
開演 14時

会場 中央公民館 大ホール  
講演 テーマ「津軽三味線の奏でる命の響き」  
講師 高橋 祐次郎 氏 (津軽三味線奏者)

問い合わせ 人權・同和対策課 ☎75-4824